



御殿峠 学生地藏尊釣鐘堂



SDGs 誰一人も取り残さない世界へ⑥

御殿峠の夢

社会福祉法人 多摩養育園
理事長 足利正哲

昭和三十四年に開設した
多摩養育園 御殿峠 福祉拠点

救護施設 光華

障害者支援施設 精華

この二施設を 鐘水の里と称し

利用者 職員 三百名の方が暮らす 大きな里

光華は九年前に全個室に改築 快適な住まいに

そして 今 精華の改築検討を継続

行政の多大なるご理解のもと 全力で 進行中

鐘水は 絹の道 歴史 文化が もり沢山の地

そして 著名な沢山の大学地帯

更に 創設者深いご縁の 日本閣

この改築にあわせ

未来の 更なる 大きな地域拠点

多くの人が 関わり つながり 楽しむ

御殿峠プロジェクトをスタート

学生地藏尊 釣鐘堂が

新たなランドマークとして

地域の皆様と共に手を取り合い 笑顔が弾む
地域の拠り所になることを 夢に

令和3年度 事業報告

I. 重点項目

- (1) あらゆる人々の活躍を推進
- (2) 持続可能な財政経営の実現
- (3) 魅力ある職場づくり、人材確保、定着、育成
- (4) 利用者サービスの向上、安心かつ安全な環境の整備
- (5) 精華改築事業の推進

II. 各部(室) 事業報告

1. 管理部

- (1) 財務分析から、課題や今後の事業展開、改築等にかかる資金計画を提示、検討
- (2) 研修や会議等で情報共有をし、内部統制や事務処理体制の向上を図った
- (3) 全事業所に臨時特例処遇改善を均等配分する為、試算提示し、導入を決定
- (4) 働きやすい福祉の職場宣言を取得し、職員処遇と適切な労務管理を整備

2. 企画広報室

- (1) 医療従事者応援のブルーライト点灯を継続実施
- (2) 職場風土構築のための座談会を実施
- (3) SNSを活用した情報発信、情報共有

3. 地域連携室

- (1) 相談の練習電話等による体制強化の下、福祉なんでも相談を実施
相談件数 16 件
- (2) 同窓会と光明塾の共同事業化を通じ、職員の企画力、調整力を強化
- (3) 法人独自のコロナ対策として、施設間往來の禁止、外来者対応の厳守、及びリモート活用による事業継続を推進

4. 施設部

- (1) 竹の里・特老大規模改修工事の実施
- (2) 常に稼働率を意識した月次分析を実施
- (3) コロナ感染クラスター発生施設に対し、施設間協力体制を組織
- (4) 精華改築事業において、建て替え後の安定経営も念頭に入れた、資金計画を立案

5. 保育部

- (1) 職員の呼称及び幼児クラスチーム名について検討
- (2) 子ども園移行に向けて確認
(今後のスケジュール確認、各園の特徴・保育内容の見直し)
- (3) 保育ソフト変更に関する検討・説明

令和3年度 決算報告

- ・ 決算内訳は社会福祉事業(特別養護老人ホーム2拠点・養護老人ホーム2拠点・救護施設1拠点・障害者支援施設1拠点・診療所3拠点・保育所11拠点)、公益事業(介護予防事業1拠点・包括的支援事業1拠点)、収益事業(駐車場経営1拠点)の合計23拠点の合算。
- ・ 現況報告書及び計算書類等は社会福祉法第59条に基づき、財務諸表等電子開示システムにて公開。

貸借対照表(令和4年3月31日現在)

単位:千円

資産の部					負債及び純資産の部						
科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引	科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
流動資産	1,982,124	1,912,040	60,920	9,164	0	流動負債	980,470	935,989	44,481	0	0
固定資産	11,455,588	11,431,823	23,721	44	0	固定負債	1,740,970	1,729,589	11,381	0	0
(うち基本財産)	(6,674,712)	(6,674,712)	(0)	(0)	(0)	負債の部合計B	2,721,440	2,665,578	55,862	0	0
(うちその他の固定資産)	(4,780,876)	(4,757,111)	(23,721)	(44)	(0)	基本金	371,265	371,265	0	0	0
						国庫補助等特別積立金	3,476,474	3,476,474	0	0	0
						その他の積立金	3,703,771	3,703,771	0	0	0
						次期繰越活動増減差額	3,164,762	3,126,775	28,779	9,208	0
						純資産の部合計C	10,716,272	10,678,285	28,779	9,208	0
資産の部合計A	13,437,712	13,343,863	84,641	9,208	0	負債及び純資産の部合計B+C	13,437,712	13,343,863	84,641	9,208	0

資金収支計算書(自令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

単位:千円

科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
事業活動収入計 ①	5,661,264	5,450,929	207,197	3,218	▲ 80
事業活動支出計 ②	5,106,177	4,913,824	191,719	714	▲ 80
事業活動資金収支差額 ①-②=③	555,087	537,105	15,478	2,504	0
施設整備等収入計 ④	145,856	145,856	0	0	0
施設整備等支出計 ⑤	395,847	392,076	3,771	0	0
施設整備等資金収支差額 ④-⑤=⑥	▲ 249,991	▲ 246,220	▲ 3,771	0	0
その他の活動収入計 ⑦	87,218	121,661	3,605	0	▲ 38,048
その他の活動支出計 ⑧	423,750	422,684	6,624	32,490	▲ 38,048
その他の活動資金収支差額 ⑦-⑧=⑨	▲ 336,532	▲ 301,023	▲ 3,019	▲ 32,490	0
当期資金収支差額合計 ③+⑥+⑨=⑩	▲ 31,436	▲ 10,138	8,688	▲ 29,986	0
前期末支払資金残高 ⑪	1,426,663	1,364,689	22,824	39,150	0
当期末支払資金残高 ⑩+⑪=⑫	1,395,227	1,354,551	31,512	9,164	0

事業活動収支計算書(自令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

単位:千円

科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
サービス活動収益計 ①	5,598,420	5,388,745	207,006	2,749	▲ 80
サービス活動費用計 ②	5,329,676	5,131,545	197,497	714	▲ 80
サービス活動増減差額 ①-②=③	268,744	257,200	9,509	2,035	0
サービス活動外収益計 ④	62,854	62,195	190	469	0
サービス活動外費用計 ⑤	57,289	57,289	0	0	0
サービス活動外増減差額 ④-⑤=⑥	5,565	4,906	190	469	0
経常増減差額 ③+⑥=⑦	274,309	262,106	9,699	2,504	0
特別収益計 ⑧	150,170	188,218	0	0	▲ 38,048
特別費用計 ⑨	146,703	146,703	5,558	32,490	▲ 38,048
特別増減差額 ⑧-⑨=⑩	3,467	41,515	▲ 5,558	▲ 32,490	0
当期活動増減差額 ⑦+⑩=⑪	277,776	303,621	4,141	▲ 29,986	0
前期繰越活動増減差額 ⑫	3,207,674	3,143,842	24,638	39,194	0
当期末繰越活動増減差額 ⑪+⑫=⑬	3,485,450	3,447,463	28,779	9,208	0
その他の積立金取崩額 ⑭	62,307	62,307	0	0	0
その他の積立金積立額 ⑮	382,995	382,995	0	0	0
次期繰越活動増減差額 ⑬+⑭-⑮=⑯	3,164,762	3,126,775	28,779	9,208	0



私たちに出来ること

未来のためにできること

2015年9月に国連サミットで採択された国際目標のSDGs。今年度、多摩養育園のSDGsテーマは、水、森林、空気(二酸化炭素削減)、生き物、健康についてです。今回は、水と森林について、取り組みを紹介致します。

水について考えよう ～とぎ汁の再利用～



お米のとぎ汁を野菜の水やりに活用しています。お米のとぎ汁には、炭水化物や脂質、ビタミン、ミネラルなどが含まれており、通常の水をあげるよりも効果的であるのに加え、水道代もかかりません。栄養豊富なとぎ汁は2、3日に一度あげれば十分です。



森林について考えよう ～竹の有効利用～

美しい景観の半面、日本各地で「竹害」として環境問題にもなっている竹林。竹の里では竹林整備として、筍を収穫。利用者様や地域に旬の味覚として提供。また年末には、法人施設で飾る門松にも利用。今後は、更なる竹の活用を考案中です。



地域の大きな家

地域福祉拠点事業紹介

各施設で、食堂や手作りの会などの催しを開催中。地域の皆様のたくさんの笑顔が集まり、輪が広がります。



エプロン作り



マスクチェーン作り



えがおのしょくどう



多摩養育園 福祉なんでも相談

多摩養育園では全施設で、福祉なんでも相談を実施。電話でも直接来訪でも大丈夫。お一人で悩まずにお近くの施設へお気軽にご相談ください。



光明塾・光明保育園同窓会 共催イベント



「長池公園散策」(5/26)、雲龍寺にて「写経を学ぼう」(6/23)を開催。人と人との交流を通して、心癒される体験講座に。光明塾にご興味がある方は、ぜひ、下記にご連絡ください。

〈お問い合わせ〉

電話：042-623-3388
(担当：石川)

つながる想い

近所の小学生が、強風で落ちてしまった七夕短冊を拾い、飾りなおしてくれました。一緒に嬉しいメッセージも！ふれあえなくてもこれからも地域の寄り処に。



トピックス

多摩養育園後援会役員会

4月21日



子ども坐禅再開

6月



3年ぶりに僧侶によるご指導

時の記念日

6月10日



光明保育園保護者会連合会

6月11日



なつまつり・納涼祭

7月



七夕

7月7日



マグロ解体ショー

7月7日・19日



寄贈：株式会社美禅様

お盆法要

7月15日



椋の里 檜浴槽新調

7月28日



木曽檜の温かみある浴槽に

終戦記念日

8月15日



働く仲間を大募集!

WEBにて就職説明会を毎月開催中。多摩養育園で働きますか。友達と一緒に参加してもOK。お待ちしています。



応募はこちらから

光明の保育「やりたい」が「できた」になるまで

やらされるのではなく、やりたいと思えるように。「明日はこれをやろう！」毎日、目的をもって保育園に来られるように。自分で「やりたい」と思ったことだから。出来なくても、何度も挑戦。すぐに教えるのではなく、急がすのではなく。私たちは、子どもの自立的な「育ち」を見守り、支える。それが私たち光明の保育です。

言葉のやりとり

言葉で表現したことが、周りの人に認められることで「自信」に繋がっていく。自分の思いを受け止めてもらえたことで、人の思いを受け入れられるようになる。これが「自己肯定感」の育ちに繋がる。



噛むことの大切さ

野菜スティック。いつもより、噛むことを意識して食べてみると、素材そのものの味や、噛んでいく音が変わっていくことを発見。また、「噛む」ということは歯だけではなく、顎も使っていることにも気付き、自分の体への興味に繋がっていく。

その人らしい人生を送れる家

私たちが、いちばんに心がけていること、それは、「ご利用者様が今までの暮らしや生活習慣を大切にしながら、自分らしく過ごしていただくこと。地域やご家族とのつながりある暮らしを大切に、その人らしい人生を送れるよう、お手伝いをさせていただきます。」

つながる笑顔

特別養護老人ホーム椋の里は、ご利用者様も職員も和気あいあい、大きな家族のような関係づくりを心掛けています。隣接する光明第七保育園園児との交流は、憩いのひと時に。子どもたちの笑顔は元気の源。また、裏山の「みんなのもり」を通じて地域の輪も広がっています。

自分だけの空間

使い慣れた家具や小物を自由に持ち込んでいただきつくる、自分だけの空間。趣味の絵画を飾ったり、家族の写真を飾ったり、各部屋は、「その人の色」。



腰痛について②

つらい痛みが発展する前に、日頃からの腰痛予防が重要です。ポイント①は4つ！①良い姿勢を保つ②同じ姿勢を長時間とらない③中腰、前かがみなど不自然な姿勢をなるべくとらない④急な動作を控え、視線と動作を合わせるなど簡単なよう実践

健康の豆知識

は以外に難しいものです。自身の癖を見直し、腰痛の原因を取り除く努力が大切。また、腰を支える筋肉の柔軟性を保つために、痛みがなければ、日々適度な運動やストレッチを行いましょ。



介護予防体操はこちらから

連載 「光明」 ②

光明第一保育園の誕生

前史その一

人間の一生にも、親の胎内にて一年近い前史がある。それと同じ。多摩養育園が生まれる前、ほぼ三年間の誕生前の歴史がある。それは創立者足利正明の壮年期である。誰も知っていない第二次世界大戦があり、その勃発は昭和十六年十二月八日、当時の最速報道機関であるラジオによって知ったのである。その時横浜市の港の見える丘、山手公園の一角で、私立女子商業の教諭をしていた正明は、即時一旦帰宅となるや、勤務先より横浜市電、省線横浜線を乗り継いで、八王子市八木町の自坊雲龍寺に帰宅するや、待ち受けていたものは「赤紙」(あかがみ)と通称されていた「召集令状」であって、数日後に千葉県柏町郊外の高射砲二聯隊へ出頭せよ、の陸軍の召喚状で、誰一人背くわけには行かない。そして、柏の聯隊から、京橋月島沖の晴海の埋立地の部隊、俄かに厳しい砲兵としての日夜の訓練に仆れて、医務室通い。国府台陸軍第二病院に入り、一旦帰休を命ぜられた。(「光明」第160号平成9年11月15日より転載)

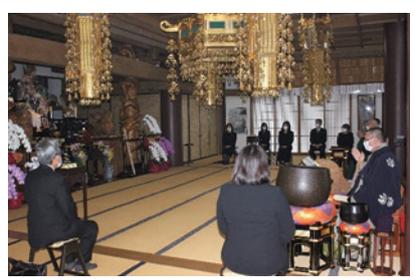
精華改築

継続進行中の精華改築事業。新案は、元多摩軽費老人ホームの跡地も利用。この度、この施設を解体することになり、50年間使用した建物に感謝し、解体の安全を祈願する法要を6月8日に挙行。元利用者様や職員が見守る中、心のこもった式となりました。ありがとう！多摩軽費老人ホーム！精華改築を見守ってください。



多額のご遺贈に感謝

生前27年間、多摩軽費老人ホームのご入居者、故・加藤眞千子様(享年90歳)より、多摩養育園に多額のご遺贈を戴きました。去る6月15日、法人として、雲龍寺様にて葬儀を執り行い、ご遺骨を多摩養育園慰霊塔へ納骨。故人は、法人芳名録に記載され、永遠にご供養されます。



学生地藏尊

昭和32年、創設者の甥にあたる、当時中学3年生の学生が教師の暴力により不慮の死を遂げた。そのご供養と「教壇より暴力を追放せよ」との悲願で建てられた「学生地藏尊」。そして戦争犠牲者の慰霊と平和への願いを込め建立された「文化の鐘」。64年もの長きにわたり、この鍮水の里を見守ってください。この度、改めてご供養をさせて頂き、精華の改築工事が、無事竣工するよう祈願。



題字 足利正哲 表紙写真 加藤敏隆

編集後記

終息の見えないコロナ禍に、正しい選択は何か、それぞれの思いが交錯し混乱しています。時間は戻すことができません。「今」は、誰にとっても平等に二度とこない大切な時間です。だからこそ、自分だけが良ければではなく、誰かのために、何かのために、今できる事を精一杯の思いを込めて過ごしたいですね。一日も早く、皆様方と手を取り合い、笑顔で語り合える日が来ることを心から願っております。

広報紙編集委員会